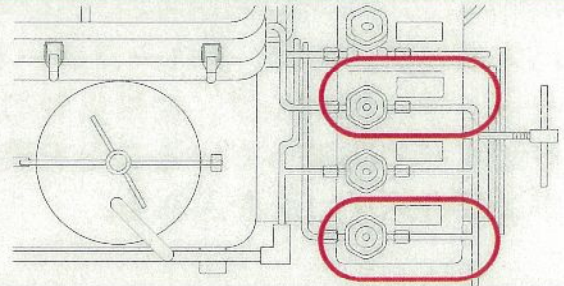


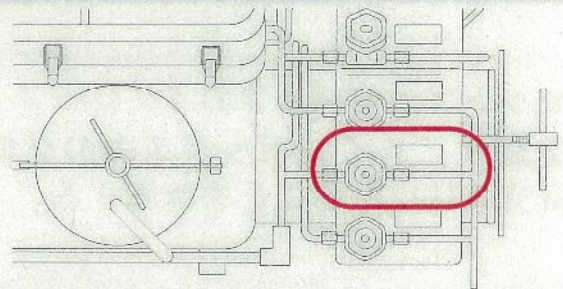
- ☞ 置換用ガスの減圧弁で二次側圧力を **0.1~0.15MPa** 程度に制御しておいてください。
 常圧に戻すのが目的ですので、ある程度二次側圧力を上げて問題ありませんが
 作業開始時には二次側圧力を 0.1MPa 程度まで下げてください。

《 ガス置換の手順 》

1. 置換用ガス供給元のバルブを開け、セットアップバルブの『**メインボックス IN**』、『**パスボックス IN**』を開け、メイン、パスボックスとも置換ガスで常圧に戻ったらバルブを閉める。



2. 『**グローブ IN**』を開け、グローブが常圧状態に戻ったら『**グローブ IN**』は閉める。

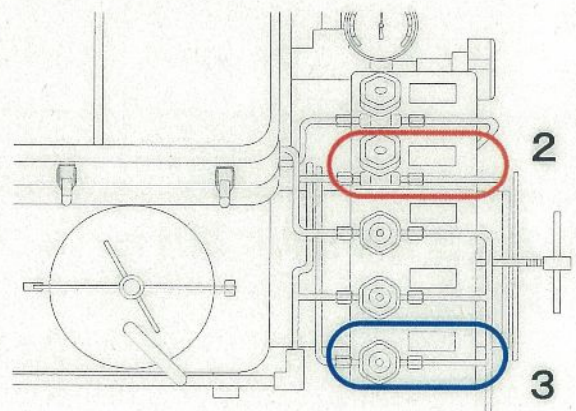


作業中は、置換後の雰囲気を持続する為に、常時適量(50~200ml/分程度)の置換ガスを継続して供給してください。

《 パスボックス操作手順 》

- ☞ ポンプのスイッチが入っていること、パスボックスの内扉が閉まっていることを確認する。

1. パスボックスの外扉を開け、サンプルを入れ、外扉を閉める。
2. 『**パスボックス OUT**』のバルブを開け、パスボックスの連成計で真空になっていくことを確認し、『**パスボックス OUT**』のバルブを閉める。
3. 『**パスボックス IN**』のバルブを開け、パスボックスの連成計で常圧に戻ったら『**パスボックス IN**』のバルブを閉める。
4. パスボックスの内扉を開け、サンプルをメインボックスに取り出し、内扉を閉める。

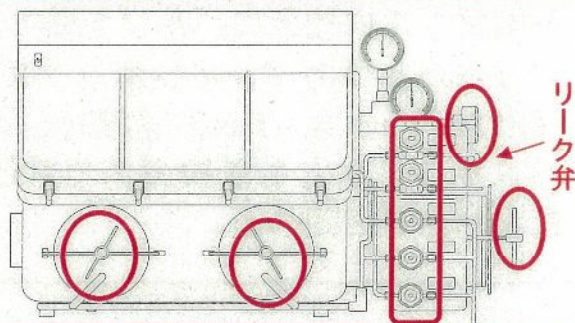


☞ ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

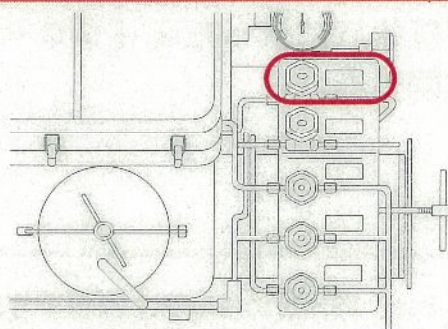
☞ 真空ポンプの吸気口とグローブボックスの排気口が排気用ホースで確実に接続されていること、置換ガス供給ラインが接続されていることを確認してください。

《 真空排気の手順 》

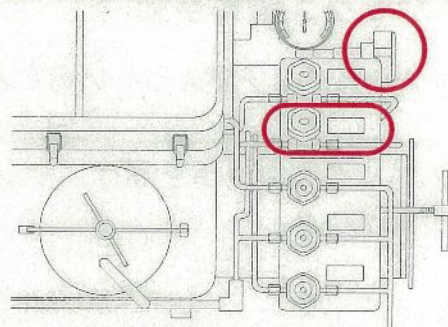
1. パスボックスの扉、グローブポートの扉、セットアップバルブ、主排気管のリーク弁がすべて閉まっていることを確認し、ポンプのスイッチを入れる。



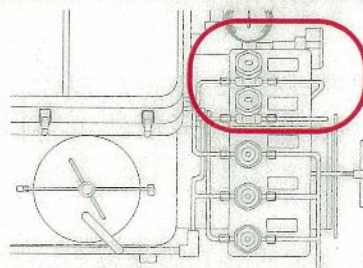
2. セットアップバルブの『グローブ OUT』を開け、メインボックス内のグローブが真空状態になることを確認する。



3. 主排気管部の『メインボックス OUT』と『パスボックス OUT』を開け、それぞれの連成計で内部が真空になっていくことを確認する。



4. 真空排気のために開けたバルブをすべて閉める。



真空ポンプを停止する際は、主排気管部のリーク弁を開いてから真空ポンプのスイッチを切る。